



平成24年5月25日

各 位

会社名 東宝不動産株式会社
 代表者名 取締役社長 八馬直佳
 (コード番号 8833 東証第1部)
 問合せ先 総務部長 松本大平
 (TEL. 03-3504-3333)

支配株主等に関する事項について

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(平成24年2月29日現在)

商号	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が 上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
東宝株式会社	親会社	59.15	0.70	59.85	株式会社東京証券取引所 市場第一部 株式会社大阪証券取引所 市場第一部 証券会員制法人福岡証券取引所

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

① 親会社等との取引関係や人的・資本的关系

当社は、東京都内において東宝株式会社が経営する演劇劇場内で売店の経営を行っており、当社が所有する帝劇ビル、東宝ツインタワービル及び梅田東宝ビルの一部を同社へ賃貸いたしております。また、人的関係については次の通りであります。

(兼任状況)

役職	氏名	親会社での役職	就任理由
非常勤監査役 (社外監査役)	高井英幸	相談役	企業経営に長年携わり、豊富な経験と幅広い見識による有益な意見を得るなど、当社経営監視機能の強化を図るため。

(注) 当社の取締役6名、監査役4名のうち、親会社との兼任者は当該1名であります。

なお、高井英幸氏は平成24年5月25日をもって当社監査役を退任し、また、同日付をもって東宝株式会社代表取締役社長の島谷能成氏が当社非常勤監査役（社外監査役）に就任いたしております。

② 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等との取引関係や人的・資本的关系などの面から受ける経営・事業活動への影響等

東宝株式会社から役員を迎えることにより、経営体制及び経営監視機能の強化を図る役割を果たしております。なお、同社との関係においては、事業運営及び取引の自立性を保つことを基本とし、当社自らが経営責任をもって事業経営を行っており、同社からの制約はありません。

③ 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

東宝株式会社は映画・演劇を主要事業とし、当社は不動産事業を基盤とするなど独自に事業活動を行っており、当社の取締役と同社との兼任者がいないこと、また、社外取締役1名が独立役員として取締役の職務の執行を監督する体制をとっていることから、親会社からの独立性は十分に確保されております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当連結会計年度（自平成23年3月1日 至平成24年2月29日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	東宝㈱	東京都千代田区	10,355,847	映画の製作 配給 演劇興行 不動産賃貸 他	被所有 直接 59.15% 間接 0.70%	建物の賃貸借他	建物の賃貸 資金の返済 利息の受取	412,047 1,500,000 4,038	売掛金 前受金 長期預り保証金 短期貸付金 —	951 4,474 1,223,252 2,000,000 —

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。
- (2) 建物の賃貸のうち帝劇ビル劇場部分の家賃は、定額分と一年間の興行収支による追加分とによっております。その他は、近隣価格を参考にして同等の価格によっております。
- (3) 資金の貸付は、グループ全体の資金効率化を図るため短期貸付を実施したものであり、利率は市場金利を勘案して決定しております。

4. 支配株主等との取引を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

東宝株式会社との取引については、一般取引と同様に公正かつ適正な条件及び手続きにより行っております。

以 上